

# 新丸山ダム周辺地域振興ビジョン 全体構成

## 第1章 新丸山ダム周辺地域を取り巻く社会の変化

### 1. 社会情勢の変化

- (1) 少子高齢化のさらなる進行
- (2) ライフスタイルの変化
- (3) デジタル社会の進展
- (4) カーボンニュートラルへの対応
- (5) 水災害の頻発化・激甚化

### 2. 周辺環境の変化

- (1) 新丸山ダム建設事業に伴う交通インフラの整備
- (2) リニア中央新幹線及び新駅整備の計画

### 3. 新丸山ダム建設事業の目的

## 第2章 新丸山ダム周辺地域の主な特徴

### 1. 新丸山ダム周辺地域の強み

- (1) 豊かな自然環境
- (2) 固有の歴史・文化
- (3) 充実した交通インフラ・ネットワーク
- (4) 国内外に発信できる価値の高い観光資源

### 2. 新丸山ダム周辺地域の課題

- (1) 観光スタイル
- (2) 受け入れ体制
- (3) 観光資源の連携

## 第3章 新丸山ダム周辺地域の目指す地域振興

### 1. 基本的な考え方

- ◇豊かな自然環境や日本らしい美しい景観、固有の歴史・文化、価値の高い観光資源など豊富な地域資源を有する新丸山ダム周辺地域を一つの地域と捉え、**資源を磨き、発掘し、つなげて周辺地域全体の魅力を高める。**
- ◇2市2町とダム関係機関が**魅力ある地域資源を共有**し、地域間相互に補完・連携した活動と充実した交通・情報通信ネットワークの形成により**周辺地域全体の満足度を向上**させ、地域の寛容性を高め、国内外からの来訪者や移住者、地域や地域の人々と関わる人口を増やす。
- ◇「人」「物」「情報」の交流が活性化し、**新たな来訪者や移住者の増加により消費行動が高まり**、新たなライフスタイルへの適応により幅広い分野においてビジネスチャンスが生まれ、企業活動が促進され、**持続的に地域経済の好循環を生み出す。**

### 2. 目指す地域振興

#### (1) 資源を磨き、発掘し、つなげる（魅力を高める）

- 自然環境が豊かで、日本らしい美しい景観や原風景が残されている地域。
- 歴史的な文化財や伝統芸能が長く地域に親しまれ、大切に受け継がれている地域。
- 地域の風土と歴史に育まれた食文化のブランド化が展開されている地域。
- 多様で豊富な地域資源を活かし、保有する地域資源をさらに磨きをかけて優れた資源に成長させる。
- 新たな資源を発掘し育て、地域らしさを大切にする。
- 多様な資源をつなげてネットワーク化することにより、新丸山ダム周辺地域の魅力を高める。

#### (2) 来訪者や関係人口を増やす（人を集める）

- 関係する行政機関や経済団体等が連携し、様々な取り組みに付加価値を与え**周辺地域全体の満足度を高める。**
- 充実した交通インフラ・ネットワークの形成により、利便性は向上し、地方への関心や興味が高まり、新たな来訪者や移住者を呼び込む。
- 多様な人々が暮らしやすく、訪れやすい支援を広げ、地域全体の寛容性を高める。
- 防災・減災対策や地球温暖化対策を進め、地域で暮らす人が豊かに暮らし、賑わいのある地域をはぐくむ地域振興により、**自らの地域への愛着・誇りを醸成する。**

#### (3) 地域経済の好循環を生み出す（消費の活性化）

- 国内外からの来訪者の消費を促すために情報発信力を向上し、サービス、製品の**付加価値を高め消費行動を高める。**
- 地域の特徴を活かしたブランドを形成し、社会情勢の変化にあわせたターゲティング、ブランディングを行う。
- 幅広い分野において新しいニーズに対応したサービス、商品開発を行い、リピーターの創出につなげ**持続的に地域経済の好循環を生み出す。**

## 第4章 地域振興の実現に向けて

### 1. 基本的な考え方

- ◇新丸山ダム周辺地域の地域振興の実現に向けて、**2市2町と新丸山ダム関係機関が中心となり**、他の自治体や地域の事業者等の取り組みを意識し、総合的な効果が発揮されるよう、**様々な主体と横断的に連携して地域振興を進める。**
- ◇2市2町の連携により相乗効果が期待される地域振興施策については、具体的な行動計画として「魅力をつなぐプロジェクト」と位置づけ、行政、商工会、地域の住民等が組織や**分野の垣根を越えた強固な協働により取り組みを進める。**
- ◇**新丸山ダム周辺地域の魅力を高め地域の満足度を継続的に高める地域振興**は、木曾川流域内の連携と交流によるバランスの取れた**流域圏の発展に寄与する。**

### 2. 魅力をつなぐプロジェクト

- ◇2市2町が連携して取り組みを加速化させる**具体的な地域振興施策を「魅力をつなぐプロジェクト」として取りまとめる。**
- ・現状の地域資源を活かした施策に加え、将来的な構想や計画段階の施策も含める。
- ・地域振興施策を実施する推進主体、体制、工程、プラン提供ターゲット、連携主体、連携する上での留意事項等をアクションプランとして取りまとめ実践していく。
- ・**社会情勢の変化や地域のニーズ等**を意識し、柔軟に追加、見直しを行い、**持続可能な地域振興を展開する。**